

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援LIGARE		
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	15	(回答数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小児療育経験のある療法士が在籍しており、効果的な支援方法の提案、実践を行っていること	・訪問する職員の基準を設けていること ・定期的にケース検討を行っていること ・訪問支援の方針で悩む場合には多職種で訪問を行い方針を立てる部分のアイデアを共有できること	・現在依頼に対して訪問支援員が不足していること、また多職種で訪問を行い環境面を作業療法士、コミュニケーション面を言語聴覚士など専門領域の職員がそれぞれ担当できる体制を整える
2	・発達検査等お子さまをアセスメントする際に観察評価だけでなく客観的な評価も行えること	・発達検査の設備また実施する際の医療機関との情報共有を行っていること ・実際に検査を実施でき、結果を伝えたことのある職員が在籍していること	・訪問支援ではお子さまの能力を評価する検査だけではなく、実際の場面で行っている様子を定量化できる評価を加えることでモチベーション、気持の切り替えなど主観で評価されやすい部分を客観的に把握することに繋がると思われる
3	・保育所等訪問支援専門で行っている為職員が訪問支援業務に従事することが出来て訪問支援の質を高める部分に注力できること	・訪問支援以外の業務を事務職員を含めて分担している	・今後も訪問支援専属のスタッフとして訪問支援の方法に検討を重ねていきます

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・月に2回の訪問の中で訪問支援以外のサービスが必要と思われるケースが見られること	・不登校児や不適応行動の程度の高い児童について職員が一人に対応することが難しい場面やそもそも別のサービスが優先される際の相談をどう行っていくか	・基本的には相談支援員と綿密に連携を取りながら、場合によっては別のサービスの紹介を行うなど訪問支援でできることの範囲を把握する
2	・訪問先で行っていることが保護者に見えにくい	・個人情報保護の観点から集団の様子を動画や写真に収めることは難しく文章のみの報告書になることがある	・なるべくイメージしやすいイラストを加えるなど保護者に分かりやすい方法に努める ・家族支援加算を活用するなど取り組んでいることを実際に見せる場面を作っていく
3	・職員がそれぞれ訪問に出ている中で職員間のやり取りやそれぞれの困難ケースの共有を行うこと	・対面で全員がそろう場面を作ることが訪問スケジュール上難しい	・Zoom等のオンラインの活用でケースを共有する機会を作ること、訪問支援にそれぞれの職員が同行するなどして訪問で取り組めることをアイデアを広げられるように機会を設ける